

2026 春闘情報 ダイジェスト

～「ハートフルカンパニー」の実現をめざして!～

No.6



2026年3月5日
東海旅客鉄道労働組合
<https://www.jrtu.jp>



Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

第5回 団体交渉

純ペア 13,000円 夏季手当 3.1箇月 集中議論!

人財こそが最大の財産! ONE TEAMで今年も賃上げ!

3月5日、2026春季生活闘争の第5回団体交渉を開催し、純ペア「13,000円」、
「夏季手当 3.1箇月」満額回答引き出しに向けた集中的な議論を展開した。

今回の団体交渉では、JR東海ユニオン組合員が一丸となって、安全・安定輸送を堅持し、医療等を含めた各種サービスの提供や、中央新幹線建設などの社業を着実に推進してきた組合員に対し、純ペア「13,000円」満額回答にて報いるよう、強く求めた。また、半期の業績配分にあたっては、大阪・関西万博開催に伴う安全・安定輸送の完遂、ビジネス需要の回復やインバウンド需要の喚起に向けた取組みに加え、各種イベントの企画・運営等にも奔走する中で、現業・非現業問わず、各系統の組合員がそれぞれの職場で社業を支えてきた奮闘により、1月4日には東海道新幹線開業以来、過去最高となる51.6万人のご利用を記録するなど、各系統の社業において確かな成果が生み出されてきた。さらに、中央新幹線計画の着実な推進に向け、安全を最優先に取り組んできた組合員や、地域医療を支えてきた組合員の奮闘も踏まえ、これらの努力と成果に対し、「夏季手当 3.1箇月」満額回答に向けて強く主張した。

会社は、現在の状況を踏まえれば、相応の賃上げは必要と理解しつつも、当社の今後の経営や、賃金水準等を総合的に考慮する必要があることを理由に、夏季手当も含め慎重な姿勢を崩さなかった。

本春闘交渉においても、各地本・総支部から「檄布・檄FAX・檄色紙・檄ムービー・檄Tシャツ」等により、組合員の声が、連日本部に寄せられている。これら組合員の想いを会社に強く主張し続け、「ハートフルカンパニー」の実現に向けた次なる一步を踏み出すべく、最後の最後まで粘り強い交渉を展開していく。

【主な議論（主張）内容】

I 月例賃金総額 20,800円以上の改善

- (1) 標準乗数を「4」とした定期昇給の年度初完全実施
- (2) 賃金をはじめ、各種労働条件・制度、福利厚生等の改善等を含む「総合生活改善の原資」として、16,000円以上の改善

会社認識（経営状況・環境、世間相場、社員の生活）、採用競争力、最低賃金の政府方針に対する考え方、労働分配率、賃金水準など

II 夏季手当

- (1) 支給月数 基準内賃金+補償措置額の3.1箇月
- (2) 支給日 6月30日

総論、キャッシュフロー、安定的支給ベース、下期経営状況、組合員の頑張り など

※詳細については、後日発行の「2026春闘情報」をご確認ください。